

職場の熱中症予防対策は万全ですか？

暑さ指数(WBGT)*や作業者本人からの体調報告に頼るのは危険です！
出勤時の体表温度検温だけでは不十分です！

体調不良リスク予測システム

従来のように熱中症患者を
検知するのではなく、

熱中症になる
体調不良になる **その前に！**
事前にAIが予測！

VitalGuard

【バイタルガード】

バイタルガードは、センサを装着した人の
心拍・活動量・体表温・pWBGTを**モニタリング**し、
AIを用いた個人データ解析により
体調不良を事前に予測するシステムです。



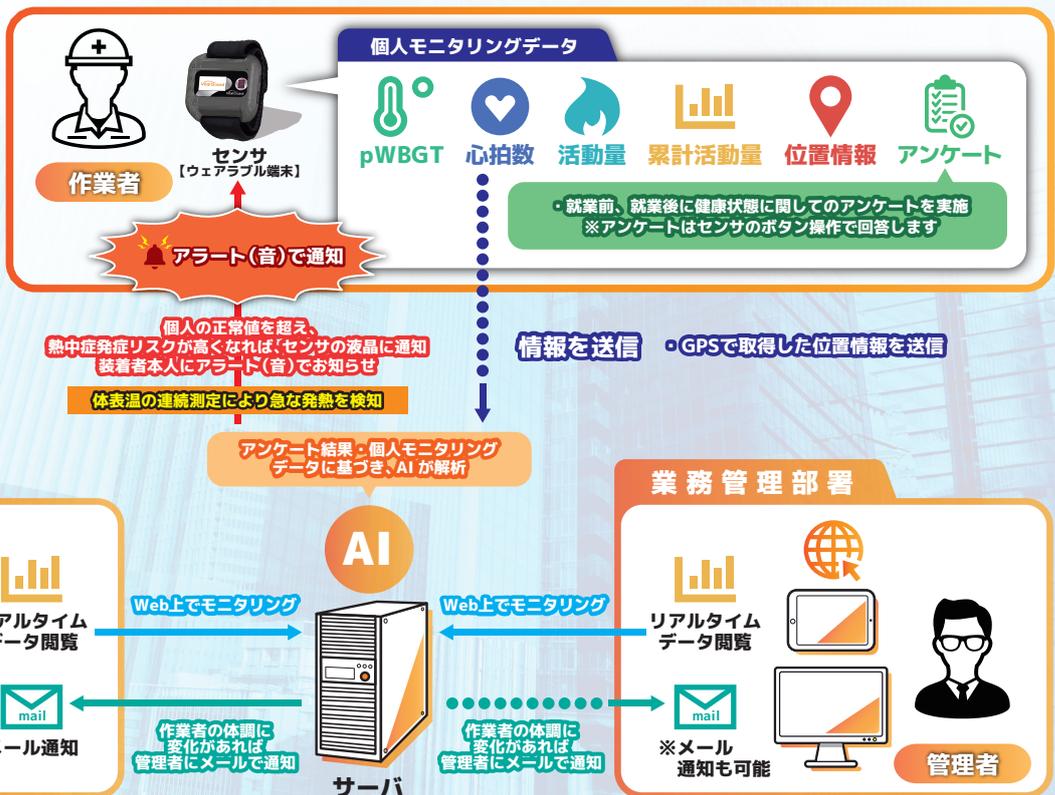
pWBGT [個人暑さ指数] とは…

※WBGT(暑さ指数)は、熱中症を予防することを目的として
提案された「ヒトが感じる暑さ環境を表した温度指標」です。
pWBGT(個人暑さ指数)は、体表温度と衣服内の温湿度など
センサ装着者の情報をもとにAIによるデータ解析で、
暑さ指数を個人レベルで評価する指標です。

システム概要

センサ装着者の体調に異変が起こる前に
管理者と本人の両者が気が付くこと
ができる予防システムです。

自身の体調の過信や業務への責任感
などの様々な要因で水分/塩分補給や
休憩をせずに体調不良を引き起こす
事例もあり、過酷な環境で作業をする
人には体調の確認や配慮が一層必要に
なります。



暑さ指数とは

暑さ指数 (WBGT)とは、熱中症を予防することを目的として提案された指標で「ヒトが感じる暑さを表した温度」です。人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

暑さ指数 (WBGT)は、場所ごとの環境の違いや衣服、個人の体格の違いまでは指数に反映されません！

衣服内の体表温度と湿度から暑さ指数を個人レベルで評価することにより、

「場所」「服装」「体格」などを反映した暑さ指数を知ることができます。

さらに業務開始前と終了後に実施されるアンケートにて、健康状態に関する装着者自身の主観的なデータを蓄積しAIが判定したデータと組み合わせることで

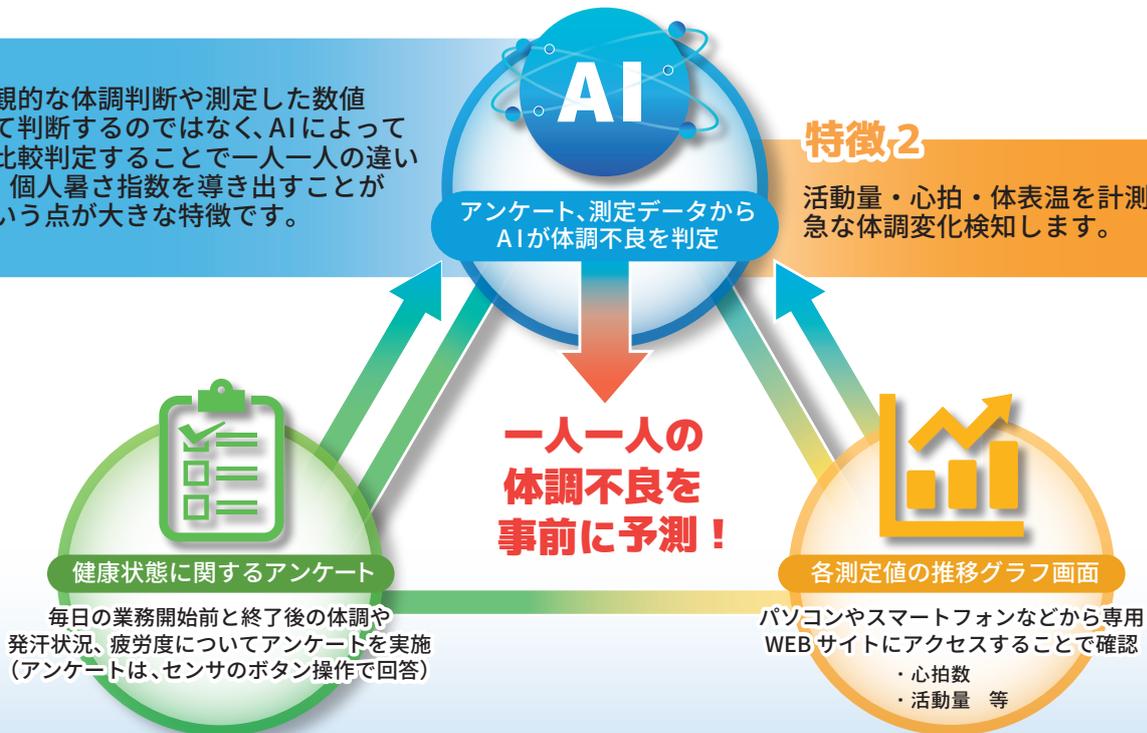
一人一人の体調管理が可能となります。

特徴1

個人の主観的な体調判断や測定した数値だけをみて判断するのではなく、AIによってデータを比較判定することで一人一人の違いを判断し、個人暑さ指数を導き出すことができるという点が大きな特徴です。

特徴2

活動量・心拍・体表温を計測することにより、急な体調変化検知します。

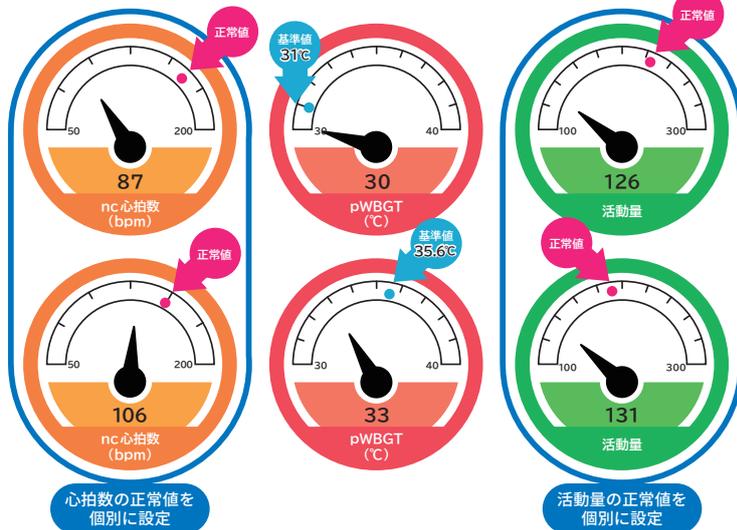


収集したデータから個人ごとの健康状態を判断

私のpWBGT基準値は、「31°C」です。



私のpWBGT基準値は、「35.6°C」です。



モニタリングでは咳も検知する為、リアルタイムに測定している体温情報と合わせて隠れ体調不良の従業員を検知するとともに、飛沫により感染の恐れのあるウイルスの拡散を予防することもできます。

※ 本製品は医療機器ではありません。
※ 本製品は各種センサにより得られた情報から熱中症を予測するシステムであり、必ずしも正確な結果を保証するものではありません。
※ 仮に本製品をご使用いただいた状態にて熱中症が発生したとしても、弊社にて責任は負いかねます。

製造販売元

Something to Life **METS** 株式会社 **メッツ**

〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7 E-mail:sales@mets-tokyo.jp
TEL:(03)3888-8445 FAX:(03)3888-8443 <https://www.mets-tokyo.jp>

代理店